## 西尾市総合福祉センターリニューアル業務 見学会 シナリオ

## 令和7年5月12日(月) 15:00~15:39 説明場所 シナリオ

1階ロビ

本日、皆様に受付で配付しました資料は、見学会の次第、質問書(メモ)、 西尾市の市勢要覧の3点になります。なお、西尾市を紹介した市勢要覧は事 業所単位で1冊としています。

では、次第に基づき見学会を進めていきます。

**1 総合福祉センターのリニューアル理由**について説明します。

実施要領でも業務目的は記載していましたが、ここではその背景などより詳 しい内容について、企画提案書作成のための基本情報として提供します。

リニューアルする理由の1つ目は施設利用の活性化であります。

こちらの 1 階口ビーは不特定多数の市民が交流できるフリースペースになり ますが、市内で最も鉄道の駅に近い有利な立地条件にかかわらず、施設の性 格上、福祉目的の利用が優先されていることから、現在は高齢者を中心とし た特定少数の利用者が散見されているのが実態です。昨年度からは、あちら にみえる長机と椅子による学習スペースを一部設けていますが、市内の公共 施設の多くが月曜日休館に対して祝日及び年末年始以外に休館日はない施設 であっても中高生が一日に多いときで5人、少ないときで2人程度で利用し ているのが現状です。こうした寂しい環境に、人気の北欧系の家具や備品等 を配置することにより、属性や世代を問わないすべての市民が利用したいと 思える新たな公共空間として再生するために今回のリニューアルを計画しま した。したがって、市では業務仕様書に行政着想による利用イメージを提示 していますが、これにこだわることなく民間ならではの発想豊かな利用活性 化プランの提案を是非期待しています。

理由の2つ目は、ひきこもり者支援の居場所のためであります。

市は「制度の狭間」で複雑化・複合化した生きづらさを抱える市民の相談を 丸ごと受け止めて支援する体制、これを社会福祉法では重層的支援体制整備 事業と言いますが、この体制に令和8年度から移行していくことを予定して います。その事業を開始すると地域の支援ニーズが高い「ひきこもり者」の 相談が増加すると思われます。自室から、あるいは自宅から出ることのでき ない、社会的なつながりが希薄なひきこもり者が、ここで何をしても、何を しなくても良く、かつ、定期的に常駐する相談員との気軽な対話もできるよ うなインテリア空間とするためにリニューアルします。

なお、市では、重層的支援体制整備事業という法律用語を、すべての人をひ

説明場所	シナリオ
	とりも取り残さないためのセーフティネット「つながりの輪」を広げていく
	ことをイメージした事業名として、~すべての人のために~「つながりの輪」
	支えあい事業と呼称しています。
	また、本事業のイメージ図は次第の裏面のとおりです。
	事業の中核機関として、つながりの輪サポートステーション(仮称)という
	組織を来年度から市役所に設置することを予定しています。
	イメージ図の右下にある地域づくり事業の下段に今回のリニューアル業務が
	記載されています。
	市が求めています、1点目の施設利用の活性化と2点目のひきこもり者の居
	場所としての両立をどのようにレイアウトするかなど、非常に難しい課題か
	と思いますが、皆様方の創意工夫あふれるインテリアデザインの提案を心か
	らお待ちしています。
	   以上で次第の1の説明を終わります。
1階ロビ	では、次第の <b>2 1階と3階の見学</b> に移ります。
_	
	こちらの1階ロビーは、約230㎡の広さがあります。
	リニューアルするスペースは床がフローリングになっている部分になりま
	す。また、そのスペースに現在、配置している机、椅子、パーテーションな
	どは撤去しますが、柱時計、テレビ、新聞ラックは残します。提案はその条   件でお願いします。
	なお、業務仕様書では1階の利用イメージを、
	子育て家庭の憩いの場、学習スペース、ミーティングスペース、ひきこもり
	者または高齢者のくつろぎの場、一人だけでくつろげるこもりルーム、配置
	した什器家具類を片隅に寄せてできるスペースを多目的に使用できるイベン
	トスペースなどと、非常に欲張りな姿として提示していますが、要は属性や
	世代を問わない、これには人口の約1%である外国人市民も含めて、すべて
	の市民がホッと安らぐことのできる空間レイアウトを提案していただくこ
	と、これはこれで非常に難しい課題ではありますが、そのことを期待してい   スナのでもります
	るものであります。     また、このことは 3 階も同じですが、予定金額以内であれば、建築関連法規
	なた、このことは3個も同じですが、予定金額以内であれば、建業関連伝統
	などの配置や利用方法を変更することにより各種利用イメージの機能を兼用
	することや拡張利用などの可変性も認めます。
	参考までに、こちらでの飲食は現在も基本的に認められています。

説明場所	シナリオ
	また、このロビーでは8年度から無料Wi-Fiが使用できる環境にしていくこと
	を予定しています。
	そして、家具備品等の組立設置支援ですが、実施場所は基本的にこちらのロ
	ビーを予定しています。なお、障がい者の方の組立設置の作業範囲について
	は安全安心が前提になりますが、障がい者の方の達成感や自己肯定感を感じ
	ることのできる範囲の作業支援はお願いしていきたいと考えています。
	以上が1階ロビーの説明になります。
3 階ボラ	2つの業務場所である3階のボランティア相談室の広さは約36㎡ありま
ンティア	す。
室	現在は、週に4日の半日、ボランティア相談員がきて相談をうけている場所と
	して利用されていますが、来年度からここはひきこもり相談と1階ロビーの
	利用が難しい、例えば他人の視線や大きな音が気になるひきこもり者のくつ
	ろぎの場としての利用を想定しています。したがって、室名をボランティア
	相談室からリニューアルするデザイン空間に合わせた名称に変更していくつ
	もりです。
	この部屋の中にある家具備品等のうち、赤いテープが貼ってあるスチール棚
	及びレターケース以外は撤去します。その条件で提案をお願いします。なお、
	赤いテープの家具は相談室内の移動は可能です。
	3階の説明は以上になります。